

令和6年度（2024年度）熊本県立天草拓心高等学校修学旅行仕様書

熊本県立天草拓心高等学校

別紙修学旅行の大綱及び本仕様書の内容を熟読していただき、見積書等の関係文書の作成と提出をお願いいたします。

1 旅行期間

令和6年（2024年）12月10日（火）～12月13日（金） 3泊4日

※出発時刻と帰着時刻の配慮をお願いします。

2 旅行先

東京及び関東近郊方面

3 参加（予定）人員

学科名	男子	女子	計
普通科	5	16	21
商業科	7	6	13
生物生産科	5	3	8
食品科学科	4	18	22
生活科学科	0	31	31
普通科総合コース	1	1	2
海洋科学科	29	1	30
合計	51	76	127

その他、引率責任者1名、引率教員9名（男性6人、女性3人）が加わり、合計137人となる。ただし、合計人数や男女の人数は来年度変更がある場合がある。

4 旅行内容

- (1) 東京または関東近郊の名所視察
- (2) 芸術鑑賞
- (3) 学科別研修
- (4) 東京都内班別自主研修

※修学旅行費用の上限または日程の都合により、すべての内容を含むことができない場合は、上記の内容の1つ、もしくはいくつかを省略しても構わない。

5 移動について

- (1) 移動は、航空機及び貸切バスを利用するが、悪天候等により航空機の使用ができない場合は新幹線を利用しても良い。
- (2) 貸切バスは、2クラス合同で1台のバスを利用することはできるが、補助席を利用しての移動が決してないようにする。なお、各クラスの移動には必ず担任1名が付き、2クラス合同の場合は担任2名がつくことになる。
- (3) 関東方面の移動に関しては、各バスに1名のバスガイドが添乗することが望ましいが、熊本県内の移動に関してはその限りではない。

6 宿舎の条件について

- (1) 安全、衛生、環境に十分な配慮があること。(防火基準適合標示制度による適合マークがあり、地元保健所による衛生管理改善指導や指摘を受けたことがない施設)さらに、新型コロナウイルス対策がなされていること。
- (2) 生徒が宿泊する部屋は、十分な広さが確保されていること。(1人あたり1.5畳以上)
- (3) 生徒指導等を徹底させる上で、分宿又は他校との同宿は避けること。また、全員が同時に集合できるスペースが確保できること。
- (4) 浴場は衛生的で、十分な広さが確保されているか、または各部屋に入浴設備が備わっていること。
- (5) 貸切バスの駐車場(台数分)が確保されていることが望ましい。
- (6) 旅館賠償保険に加入していること。
- (7) 同一地域での宿泊は同じ宿舎を使用するが、期間中他地域の宿舎を1泊程度使用することも可能である。

7 食事について

- (1) 食事は、献立のバランス・料理方法・衛生面の配慮が十分になされ、内容・量ともに高校生にふさわしいものであること。また、食物アレルギーの生徒にも対応できること。
- (2) 1日目(出発時)の昼食は、熊本空港内もしくは飛行機内で食べられる弁当などを準備し、ゴミの処分についても対応すること。
- (3) ホテル等での食事は、一度に全員がそろって取れることが望ましい。
- (4) 移動の都合または行程の内容により、グループごとの食事、バスの車内での弁当、もしくは食べ歩きなど生徒各自が自己負担で取る食事などを含めることはできるが、衛生等の安全面やゴミの処分等については対応すること。
- (5) 食事の費用は、全行程で旅費に含むが、班別自主研修時の食事や食べ歩きなどの生徒各自が自己負担で取る食事はその限りではない。
- (6) 生徒各自が自己負担で食事を取る回数は、班別自主研修時を除いて1回までとする。

8 芸術鑑賞について

- (1) 芸術鑑賞を行う際には、生徒全員で昼または夜に公演されている演劇などを鑑賞すること。
- (2) 夜の公演を鑑賞する場合には、夕食の取り方や移動方法、さらにはホテルへの帰着時間など生徒の安全面等にも配慮すること。

9 学科別研修について

- (1) 学科別研修を行う際には、各学科に1台のバスを準備すること。
- (2) 学科別研修の内容に関しては、旅行業者がそれぞれの学科に対して実施可能な案を複数提示すること。なお、各学科の特徴は以下に示すとおりである。

学科名	特徴
普通科	大学や各種専門学校への進学を目指す
商業科	ビジネスの現場で必須のスキルを身につける
生物生産科	動植物の栽培や飼育管理を通して農業に携わる人材を育てる
食品科学科	美味しく安全な食品作りを学び、職のスペシャリストを目指す
生活科学科	保育や福祉などの科目を学び、社会に役立つ人材を育てる
普通科総合コース	普通科と商業科の授業を選択しながら幅広い人材を育てる
海洋科学科	漁業や船舶、海洋について学び、漁船や船舶職員を目指す

- (3) 各研修先への事前予約や打ち合わせ等については、原則旅行業者で対応すること。
- (4) 実際に学科別研修先を決定する際に、各学科の目的地が異なることで、学科ごとに交通費が大きく異なる場合や、移動の距離や時間などを考慮して、貸切バスを利用せず、地下鉄などの公共交通機関を利用して移動する場合には、後日学科ごとの見積書を作成してもらう場合がある。

10 班別自主研修について

- (1) 4～6名程度の生徒で構成されたおよそ35班の生徒が、それぞれの計画に基づき、班ごとに研修を行う。
- (2) 班別自主研修中の食事は、生徒各自が自己負担で取ることとする。
- (3) 生徒の安全確認と行動確認をするための方策を提示すること。

11 安全・事故防止対策等について（次の事項を書面で提出すること）

- (1) 事故防止及び安全対策
- (2) 連絡体制
- (3) 添乗員名簿（1人のみ「旅行管理業務を行う主任者証」「資格修得者証」を提示すること）
- (4) 貸し切りバス（営業登録のバスの証明）
- (5) 食事内容
- (6) 修学旅行中各種保険
 - ア 旅行損害保険
 - イ 修学旅行変更保険
 - ウ 物損保険
 - エ インフルエンザ等による伝染病感染症生徒が出た場合の延泊や保護者の救援等に備えた保険

12 その他

- (1) 添乗員は3名以上とし、うち1名は修学旅行の打ち合わせから旅行業務完了まで専任担当者とし、必ず女性添乗員を1名は含めること。
- (2) 看護師（女性）を1名添乗させること。ただし、その添乗期間は熊本から東京へ到着した時から東京から熊本へ出発する時までとする。
- (3) 見積書は令和5年5月17日（水）現在の料金で作成すること。
- (4) 見積書提出時には、できる限り宿泊施設名を記載すること。
- (5) 旅行地近郊における緊急対応時公共施設（警察や病院等）への連絡は事前に旅行者で対応すること。
- (6) 見積書の金額は、1人あたりの金額とし、次の項目の金額が明記されていること（税込み価格）。
 - ア 交通費
 - イ 宿泊費
 - ウ 弁当代及び食事代
 - エ 拝観料・入場料
 - オ 有料道路交通料
 - カ 駐車料
 - キ 添乗員経費
 - ク 看護師経費
 - ケ 旅行業務取扱料金
 - コ 損害保険等費用
 - サ キャンセルする場合の費用（個人・団体）・条件
 - シ その他
- (7) インフルエンザや新型コロナウイルスなど感染症の拡大や災害など突発的事由で予定通りの実施が難しくなった場合の対応について、旅行のキャンセルや、日程変更の可能性も含めて、詳しく提示すること。
- (8) 必要に応じて事前資料の提出及びヒアリングに応じること。
- (9) 企画書や見積書等の関係書類は30部作成し、熊本県立天草拓心高等学校（本渡校舎）に提出することとし、その提出期限は令和5年6月16日（金）の16時までとする。
- (10) 保護者説明会に参加し、行程及び料金等の説明及び資料を配付すること。
保護者説明会の日時及び場所 令和5年7月21日（金）17時30分 本渡校舎体育館

1.3 業者説明会について

令和5年（2023年）6月27日（火）14時より、熊本県立天草拓心高校（本渡校舎）にて行う予定としていますが、詳細は後日企画書の提出があった業者に対して、担当より連絡いたします。

尚、結果の通知は業者決定会議を開き、後日、各業者に文書で結果を通知します。

日次	行程
1日目	学校 → 熊本空港（昼食） 羽田空港 → 名所視察（夕食） ホテル ※昼食は、各自持参した弁当を空港内または飛行機内で食べる。 ※夕食は、ホテル以外のレストランまたは食べ歩き等で取ることも可能である
2日目	ホテル → 名所視察、芸術鑑賞、学科別研修 → ホテル ※日中の行程に関しては上の3つをすべて含んでもらいたいが、旅費の上限があるため、この中のいくつかを含んでいれば良い。 ※朝食は、ホテル内で取ること ※昼食は、レストラン等で全員一斉に取ることが好ましいが、グループごとに分かれて、または場合によってはバスの車内で弁当を取ることも可能である。 ※夕食は、ホテル以外のレストランまたは食べ歩き等で取ることも可能である
3日目	ホテル → 班別自主研修 → ホテル ※朝食は、ホテル内で取ること ※昼食と夕食は、生徒は班ごとに自分たちで取る。
4日目	ホテル → 名所視察 → 羽田空港（昼食） 熊本空港 → 学校 ※朝食は、ホテル内で取ること ※昼食は、羽田空港内で取ること

【参考】

前年度熊本県立天草拓心高等学校修学旅行 3泊4日